


整理番号	HT25020	分野	人文・社会	(キーワード)手話、アジア、アフリカ
------	---------	----	-------	--------------------

秋田大学

世界の手話を知ろう！～アジア・アフリカの手話はどんな言葉？～

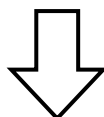
先生(代表者)	宮本 律子(みやもと りつこ) 教育文化学部・教授			
自己紹介	<p>専門で研究しているのはアフリカ言語学です。2,000 種類もあると言われているたくさんのアフリカ諸語のうち、遊牧民の言語や、消滅の危機に瀕している少数言語、さらにケニアの手話を研究してきました。人間は声から出す音や、表情、手の動きなどあらゆる方法で伝えあいをします。その伝えあいは、キャッチボールのように単に言葉を投げ合うのではなく、あたかも一緒に織物を織っているような行為です。見事な模様をなすこともあれば穴ぼこもある。私はそんな「ことばをつむぎあう世界」に関心があります。</p>			
開催日時・主な募集対象	平成25年11月9日(土)	(対象)	中学生・高校生	(人数) 30名
集合場所・時間	秋田大学教育文化学部		(集合時間)	午前 9:00
開催会場(集合場所)	秋田大学 手形キャンパス(60周年記念ホール) 住所: 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 アクセスマップ: http://www.akita-u.ac.jp/honbu/access/			
内 容				
<p>世界では、120種類以上の手話が話されています。アジアやアフリカで話されている手話はどんなものでしょうか？日本手話と似ているところがあるのでしょうか。それとも、まったく異なるものでしょうか。このプログラムでは、フィリピンとケニアの手話を中心に、アジア・アフリカの手話を使って生活しているろう者の人々の生活を紹介しながら、世界のろう文化とコミュニケーションのあり方について考えていきます。お話は、音声日本語と日本手話でおこないます。講師は、ろう者と聴者です。</p>				
スケジュール				持 ち 物
9:00- 9:30	受付 (秋田大学 60 周年記念ホール入口)			筆記用具
9:30- 9:50	開講式 (あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)			
9:50-10:40	講義①「世界の手話」(講師: 森 壮也)			特 記 事 項 日本語のお話には手話通訳が、手話でのお話には日本語通訳がつきます。
10:40-10:55	休憩			
10:55-11:45	講義②「アフリカのろう文化と手話」(講師: 宮本 律子)			
11:45-12:45	昼食			
12:45-13:45	講義③「アジアのろう文化と手話」(講師: 森 壮也)			
13:45-14:00	休憩			
14:00-15:00	演習: 日本手話の表現を色々な手話と比較しながら勉強してみよう!			
15:00-15:10	修了式 (アンケート記入、未来博士号授与)			
15:10	終了・解散			

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	秋田大学 学術研究課 栗田 駿人 (くりた はやと)
住所：	〒010-8502 秋田市手形学園町 1-1
TEL 番号：	018-889-3003
FAX 番号：	018-889-2928
E-mail：	gakujutu@jimu.akita-u.ac.jp
申込締切日：	平成25年10月25日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。